

第 8 期介護保険事業計画の進捗状況

[要介護等認定者の見込み(総数)] (人)

	R3 計画値	R3 実績	R4 計画値	R4 実績	R5 計画値	R5 実績
要支援 1	122	134	124	154	127	179
要支援 2	432	460	437	462	443	472
要介護 1	839	806	855	734	870	669
要介護 2	1,011	945	1,030	941	1,045	865
要介護 3	720	694	734	687	748	687
要介護 4	613	556	629	581	638	546
要介護 5	408	349	415	351	420	354
合 計	4,145	3,944	4,224	3,910	4,291	3,772

(各年 10 月 1 日推計)

- ・要介護認定者は減少傾向にあり、計画値を下回っているが、要支援 1・2 については計画値を上回っている。

[総合事業対象者の見込み(総数)] (人)

	R3 計画値	R3 実績	R4 計画値	R4 実績	R5 計画値	R5 実績
事業対象者	477	445	478	447	480	452

実利用者数

(各年 4 月 1 日推計)

- ・計画値を下回っているが、要介護認定者(要支援 1・2)の増加により、対象者は増加傾向と言える。

地域支援事業

事業量見込

ア 介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業)

① 介護予防・生活支援サービス事業

・訪問サービス

実人数(人)

サービスの種類	R3 計画値	R3 実績	R4 計画値	R4 実績	R5 計画値	R5 実績
訪問型予防給付 相当サービス	132	111	135	112	140	113
訪問型基準緩和 サービス(A1型)	19	10	21	8	23	7

訪問型基準緩和 サービス（A 2 型）	8	8	9	8	10	4
訪問型住民主体 サービス（B 型）	30	51	40	51	50	44
訪問型短期集中 予防サービス （C 型）実人数	4	2	5	2	6	5

- ・訪問型短期集中予防サービスCは、一定期間（3 か月）集中して、理学療法士などのリハ専門職が自宅を訪問し、個別にサポートする事業であり、計画値を下回っているが、対象者は潜在的に増加傾向と考える。

・通所サービス

実人数（人）

サービスの種類	R3 計画値	R3 実績	R4 計画値	R4 実績	R5 計画値	R5 実績
通所型予防給付 相当サービス	335	325	345	358	355	410
通所型基準緩和 サービス（A 型）	75	64	80	64	85	56
通所型短期集中 予防サービス （C 型）実人数	17	33	18	75	19	56

- ・通所型短期集中予防サービスCは、一定期間（3 か月）集中して、運動機能の向上だけでなく、栄養改善、お口の健康相談や指導といった保健・医療の専門職の指導プログラムにより構成されている。集団教室の中で個々にもサポートする事業であり、毎年、力を入れて取り組んだ結果、計画値を大幅に上回った。

・介護予防マネジメント

実人数(人)

	R3 計画値	R3 実績	R4 計画値	R4 実績	R5 計画値	R5 実績
介護予防支援事業 ケアマネジメント	385	312	405	417	425	379

- ・減少傾向にあるのは、決して対象者が減ったわけではなく、介護予防支援が多くを占めていると考える。

② 一般介護予防事業

サービスの種類	R3 計画値	R3 実績	R4 計画値	R4 実績	R5 計画値	R5 実績
高齢者生活支援サービス地域ニーズ調査回答者数（実人数）	2,700	2,452	2,750	2,364	2,800	2,237
いきいきふれあいのつどい登録者数（実人数）	7,770	7,545	7,820	6,787	7,870	6,803
フレイル予防事業（実人数）	100	—	130	22	160	112
いきいき運動広場（延人数）	2,690	2,365	2,720	2,595	2,750	3,829
いきいき運動広場パワー（延人数）	—	—	—	—	—	5,534
いきいき運動広場PLUS（延人数）	2,350	3,192	2,380	4,278	2,400	—
のうりよくアップ教室（延人数）	660	699	670	564	680	643
男の貯筋講座（延人数）	420	386	430	744	440	480

- ・一般介護予防教室については、委託事業者と地域包括支援センターと連絡会を行い、内容等を見直し、継続していける教室を提供している。

※フレイル予防（実人数）については計画値と大きく乖離しているため、第9期計画では延べ人数に目標意を変更

イ 包括的支援事業

	R3 計画値	R3 実績	R4 計画値	R4 実績	R5 計画値	R5 実績
地域包括支援 センター（箇所）	6	2	6	6	6	6
在宅医療コーディネーター事業等包括 ケア在宅医療推進 事業（人）	6	6	6	6	6	6
在宅医療に関する 出前講座等開催数 （回数）	13	10	14	13	14	19
顔の見える多職種 連携会議（延人数）	280	58	285	59	290	75
生活支援・介護予 防サービス協議体 （第2層）（箇所）	17	17	17	17	17	17
認知症対策地域ケ アネットワーク会 議の開催（回）	2	0	2	2	2	2
認知症初期集中支 援チーム（対応件 数）	17	3	18	2	20	2
認知症地域支援推 進員（実人数）	13	16	13	18	13	22
認知症カフェ（箇 所）	6	5	6	6	7	6
認知症に関する事 業（地区）	15	7	16	10	17	9
徘徊高齢者等S O Sネットワーク事 業の普及（新規登 録者数）	-	22	-	12	-	19
あんしん見守りキ ーホルダーの普及 （新規登録者数）	-	6	-	7	-	12

家族やすらぎ支援事業(延人数)	640	295	645	242	650	227
地域ケア個別会議(延人数)	120	110	126	145	132	152
地域における地域ケア会議(延人数)	96	50	102	97	108	59

- ・順調に事業を推進している。徘徊高齢者等ＳＯＳネットワーク事業の新規登録者数が伸び悩んでいる。制度の周知について、警察、県と連携し広めていきたい。

※徘徊高齢者等ＳＯＳネットワーク事業及びあんしん見守りキーホルダーについては、実人数の抽出がむずかしいため、第９期計画では新規登録者数とする。

ウ 任意事業・その他の事業

(人)

	R3 計画値	R3 実績	R4 計画値	R4 実績	R5 計画値	R5 実績
家族介護支援事業	135	70	140	76	145	75
家族やすらぎ支援事業(延人数)	640	295	645	242	650	227
食の自立支援事業	1,530	1,482	1,550	1,083	1,570	867
認知症サポーター養成講座(延人数)	685	527	695	559	700	423

- ・食の自立支援事業については、利用者の適正化を図った。
- ・地域ボランティアを増やしていくため、認知症サポーター、介護予防サポーターといった身近な相談者を育成し、第２の人生を考える機会となるカリキュラムを今後実施し、ウェルビーイングを高めていく。